

金城 判定V

岩手国体ボクシング

県勢初の頂点に

成年男子 ウェルター級



第2ラウンドで激しく打ち合う金城大明(奥)＝10日、岩手県の水沢体育館(安富智希撮影)

【岩手国体取材班】第71回国民体育大会「2016希望郷いわて国体」第10日の10日、ボクシング競技の決勝が岩手県の水沢体育館で開かれた。県勢で決勝に進んだ成年男子ウェルター級の金城大明は、熊本の前嶋将之を判定で下し、全国の頂点に立った。県勢が成年男子の同級で優勝するのは初めて。

▽成年男子ウェルター級決勝

金城大明

(沖縄・自判定)

前嶋将之

(熊本・拓

衛隊)

金城は今大会を通して、積極的な攻めの姿勢が際立った。初戦は開始わずか1回2分5秒で試合を決めた。「パンチを当てにいったらすぐに試合が終わった」と振り返った。昨年のアマチュアボクシング国際大会で銀メダルを獲得。世界を知る実力者が貫禄のスタートだった。

準々決勝を判定勝ちし、準決勝は強打の相手と対戦。ゴングと同時に激しい打ち合いを展開し、ボディや顔などを打ち分けた金城が手数で上回り、3-0の圧勝で決勝に駆け上がった。